

# 平成 30 年度 教 育 計 画

愛南町立東海小学校

|            |        |     |   |     |          |      |                   |
|------------|--------|-----|---|-----|----------|------|-------------------|
| 校 長<br>氏 名 | 清水 二十志 | 児童数 | 9 | 学級数 | 2<br>(0) | 教職員数 | 男 2<br>計 4<br>女 2 |
|------------|--------|-----|---|-----|----------|------|-------------------|

|   |   |
|---|---|
| 教<br>育<br>目<br>標<br>・<br>基<br>本<br>方<br>針 | <p><b>1 学校の教育目標</b><br/> 「豊かな心と健やかな身体で、自ら学び、愛顔が輝く東海っ子の育成」</p> <p>(1) 目指す児童像<br/> ア 明るく (元気で、やり抜く子) &lt;健やかな体&gt;<br/> イ やさしく (共感・協働、思いやりのある子) &lt;豊かな心&gt;<br/> ウ 考える (進んで学び、生き生きと表現する子) &lt;確かな学力&gt;</p> <p>(2) 目指す教師像<br/> ア 情熱ある教師 (専門職の誇りを持ち、子どもに夢を持たせる教師)<br/> イ 協働する教師 (豊かな感性と健康な身体で、常に子どもと歩む教師)<br/> ウ 信頼される教師 (自己を磨き、家庭・地域の願いに応え、子どもを成長させる教師)</p> <p>(3) 目指す学校像<br/> ア 活気のある愛顔あふれる学校 (挨拶や返事がしっかりできる元気で明るい学校)<br/> イ 一人一人の個性を生かした学校(少人数のメリットを生かし、一人一人の個性が輝く学校)<br/> ウ 安全・安心で楽しい学校 (子どもの命をまもり育てる学校)</p> <p><b>2 基本方針</b></p> <p>(1) 東海小学校及び東海校区の歴史と伝統を継承しながら、地域で学ぶ活動に主体的に取り組み、地域とともにある学校(コミュニティ・スクール)として、家庭・地域に信頼される学校づくりを目指す。</p> <p>(2) 小規模校のよさを生かし、児童一人一人を生かした教育活動を教職員の創意で展開し、コミュニケーション能力を向上させるとともに、人間性豊かな「東海っ子」を育成する。</p> <p>(3) 防災教育を軸として、安全・安心な学校経営に努める。</p> |
|---|---|

|  |   |
|--|---|
| 経<br>営<br>の<br>重<br>点<br>と<br>努<br>力<br>事<br>項 | <p><b>1 確かな学力を育成する教育の推進</b></p> <p>(1) 児童の「主体的な学び」を充実させるよう授業改善に取り組むとともに、教師が授業力を向上させることで分かる・できる喜びを味わわせる。</p> <p>(2) 少人数のよさを生かし、児童一人一人の教育的ニーズに応じて複式学級学習支援員を積極的に活用し、基礎・基本の定着と向上を図る。</p> <p>(3) 基本的な学習習慣や学習規律を確立するとともに、家庭学習の充実を図り、自主学習を奨励する。(家庭学習時間は、低学年30分間、中学年40分間、高学年60分間以上を目指す。)</p> <p>(4) 一人一人の読書の時間を確保するとともに、新聞や図書館の本を活用しながら児童の読解力・表現力・コミュニケーション能力を身に付け、各教科における言語活動の充実を図る。</p> <p><b>2 一人一人を見つめ育てる生徒指導の徹底と健全育成の推進</b></p> <p>(1) 発達段階に応じた規範意識を確実に身に付けさせ、善悪の判断ができる児童を育てる。</p> <p>(2) 少人数のよさを生かし、全職員が全児童と向き合う時間の確保に努め、悩みや願いを相談できる児童と教職員の信頼関係を確立し、児童一人一人の学校での居場所づくりを中心とした生徒指導の充実を図る。</p> <p>(3) 家庭や地域と連携し、「早寝・早起き・朝ご飯+朝の排便運動」「スマイルあいさつ運動」を通して、心身ともに健康な生活習慣の確立に努める。</p> <p>(4) 「学校運営協議会」における話合いの機会を活用したり、見守り隊の支援を受けたりしながら、校外での児童の生活の様子を把握し、地域と協働して児童の健全育成に努める。</p> |
|--|---|

|                   |   |
|-------------------|---|
| <p>経営の重点と努力事項</p> | <p><b>3 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進</b></p> <p>(1) 「特別の教科道徳」の充実を図り、各教科等との関連や体験活動、地域の人材を活用した道徳の時間を設定するなど、指導内容や指導法の質的改善に努める。</p> <p>(2) 「自他の生命の尊さ」を認識させる指導を徹底し、全教育活動を通して「生命への畏敬の念」や「思いやりの心」を育てる。</p> <p>(3) 教科体育の充実と「えひめITスタジアム」「パーフェクト自己新記録賞」へのチャレンジや放課後のスポーツ活動を通して運動の生活化を図り、元気でたくましい心身を育成する。</p> <p>(4) 地域のぎょしょく教育推進事業や食生活改善グループ関連事業等を積極的に取り入れるとともに、学校給食の推進を通して、望ましい食習慣を確立する。</p> <p><b>4 互いの人権を尊重する教育の推進</b></p> <p>(1) 「東海小学校いじめ防止基本方針・いじめ対応行動マニュアル」を基に危機意識を常にもち、「いじめは絶対に許さない、見過ごさない学校作り」を目指して、全職員が一致協力して問題の早期発見に取り組む積極的な生徒指導を推進する。</p> <p>(2) 人権感覚を磨くとともに、児童一人一人の活躍を保障し、自己有用感を育てる。</p> <p>(3) 「ひとごとからわがことに」を合言葉に、自他のよさを認め、互いに尊重し合い、共に生きる人権・同和教育を推進する。</p> <p><b>5 特別支援教育の充実</b></p> <p>(1) 児童一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難な場面で合理的配慮をしながら組織的・継続的に、個々に応じたきめ細やかな指導・支援に努める。</p> <p>(2) 校内研修や校内支援委員会を計画的に実施し、全職員で特別支援教育を推進する。</p> <p>(3) 町教育委員会をはじめ、専門家・関係諸機関との連携の下に、効果的な支援、就学指導を進める。</p> <p><b>6 安全教育の充実と安全・安心な教育環境の整備</b></p> <p>(1) 「自分の命は自分で守る」という意識に基づいた安全教育を計画的に実施し、児童一人一人に危機回避能力と自助・共助の態度を身に付けさせる。</p> <p>(2) 地震・津波などの自然災害に対し、適切に対応できる能力（判断力と行動力）を養うとともに、学校を中心とした地域ぐるみの防災体制の充実に努める。</p> <p>(3) 学校と家庭・地域社会・関係諸機関との連携・協力により、児童や地域の実態に応じた安全対策を講じ、児童が安心して生活できる教育環境を整備する。</p> |
| <p>管理運営</p>       | <p><b>1 人的管理&lt;心&gt;</b></p> <p>(1) 温かい人間関係に基づく協働体制が確立された「チーム東海」づくり</p> <p>(2) 職責や心構えを常に振り返る等、信頼される教職員としての信用の保持</p> <p>(3) 安全・安心な学校づくりと、地域ぐるみ、社会総ぐるみによる児童の健全育成</p> <p>(4) 学校運営協議会や学校評価の充実による開かれた学校づくりの推進</p> <p><b>2 物的環境&lt;物&gt;</b></p> <p>(1) 児童の心を育てる美しく潤いのある教育環境づくり</p> <p>(2) 自ら学ぶ意欲を高める各施設・設備・備品の整備と効果的な活用</p> <p>(3) 安全点検の日常化への意識改革と、潜在危険箇所の早期発見・早期対応</p> <p>(4) 家庭・地域社会、関係機関と連携した安全体制の整備と防災教育の推進</p> <p><b>3 事務管理&lt;流れ&gt;</b></p> <p>(1) 校務分掌の明確化・適正化による事務環境の整備と「愛サポ」の積極的活用</p> <p>(2) 御荘共同事務室との連携による正確で迅速、適切な事務処理と、情報管理</p> <p>(3) とりあえず「報・連・相」、かもしれない「報・連・相」＋確認の徹底</p>   |